

令和元年 5 月 31 日

市民文教委員会

スポーツ振興課

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会における ブラジル選手団事前合宿の受け入れについて

1 目的等

- ・ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けては、ブラジルのホストタウンに登録した。これは四半世紀を超える交流の歴史によるもの。
- ・ 2018 年 7 月、パラリンピック委員会との協定により、全競技の事前合宿を受け入れることとした。ブラジルは世界第 8 位（リオ大会メダル獲得数）の強豪国であり、選手団は約 400 人と想定される。ここまで大規模な事前合宿の受け入れは、パラリンピック史上、例はない。
- ・ 一方のオリンピックの受け入れ競技については、今後、最終の協定書に定める。
- ・ 選手団の受け入れは、単なる練習会場の提供だけではなく、外国人や障がいのある人との共生社会を更に進化させるもの。
- ・ 市民会議の立ち上げやボランティアの募集などを通して、多くの市民の皆様に関わりを持っていただき、選手団の受け入れを行う。

2 主な取り組みと今後のスケジュール

年	主な取り組み	交流合宿(市民交流人数実績)
2016 年	5 月 ホストタウンに登録	
2017 年	6 月 オリンピック委員会との覚書締結 8 月 パラリンピック委員会との覚書締結 12 月 共生社会ホストタウンに登録	6 月 柔道交流合宿(207 人)
2018 年	2 月 ブラジルホストタウン浜松市民会議立ち上げ 7 月 パラリンピック委員会との協定書締結 ※全競技を受け入れる協定を締結	6 月 柔道交流合宿(404 人) 11 月 車いすマラソン交流合宿(962 人) 11 月 柔道交流合宿(152 人)
2019 年	3 月 市民ボランティア(Torcida Brasil)募集開始	
今後予定	7 月 オリンピック委員会との協定書締結 パラリンピック委員会との協定書締結	7 月 ブラインド柔道交流合宿 8 月 パラトライアスロン交流合宿 柔道交流合宿(世界選手権前) 11 月 柔道交流合宿(グランドスラム前)

3 費用負担の考え方

- ・ 練習会場の施設利用料は浜松市が負担する。
- ・ 選手団の宿泊費、食事代、国内交通費（新幹線等）は、競技大会に出場する選手分のみ浜松市が負担するよう協議中。
- ・ 市内の選手輸送と競技用品（競技用車いすなど）の運搬は浜松市が負担する。
- ・ これらホストタウン関連事業のうち、対象経費の 2 分の 1 について、国の特別交付税措置となる。